

産業活力にあふれる都市を目指す—愛知県春日井市



ごあいさつ

春日井商工会議所
会頭 松尾 隆徳

わが国経渃は、昨年前半にやや持ち直しの動きが見られたものの、デフレの影響、依然として高い為替水準など先行き不透明感があり、足踏み状態が続いています。

春日井市に目を向けましても依然として厳しい状況ではありますが、この地域には数多くの良さがあります。30万人を超えた人口の増加、交通の便の良さ、土地の値ごろ感・住環境の良さ、集積化された大企業や中部大学の存在などがそれにあたります。これは春日井の潜在力であり「春日井の地域資源」と言えます。この資源を再認識し、「春日井ブランド」を創出していくとともにビジネスにつなげることが必要と考えます。

こうした中で商工会議所としては、

- ①判りやすく、質の高い、効果のある事業を取り上げ、その結果、会員企業・地域が成果を出すこと
- ②商工会議所と春日井市が連携を深め、商工業がより栄える街づくりに参画していく
- ③従来の慣習・事業面・活動面において集中と選択（スクラップアンドビル）を行ない、商工会議所50周年ビジョンの実現に向けての取り組み
- ④産業の地産地消として、かつ当面の雇用維持・微増対策として、市内商工業者・団体、役所間の相互取引、受発注業務の15%増をめざす運動を提唱していきます。

最後に、地域総合経渃団体としての責務を認識し、役員・議員、職員が一丸となって邁進する所存でございます。



ごあいさつ

春日井市長
伊藤 太

春日井市は、人口30万人を擁する中部圏の中枢都市として、着実な発展を続けています。こうした中、存在感あふれる新しい春日井を築くため、常に「市民目線」と「民間の発想」で考え、活力と魅力あふれるまちづくりに全力で取り組んでおります。

本市といたしましては、地域経渃が持続的に成長するため、地域の政策資源を広く活用して最大の効果が得られるよう「産業振興アクションプラン」を着実に実行し、企業の成長支援と地域でのビジネス活性化に努めるとともに、本市と商工会議所が一体となって、企業の相談にきめ細かに応じる「ワンストップサポート体制」を確立し、企業の目線に立った助成制度を実施するなど、様々な角度から企業を支援しております。

さらに、実生栽培が日本一といわれている「春日井サボテン」に着目した「サボテンプロジェクト」として、サボテンブランドの新たな商品の開発を推進するとともに、食用サボテンのプランテーション化による増産体制への支援を行い、サボテン商品の一層の充実を図り、地域ブランドとしての確立に向け、市内外に向けた情報の発信に努めています。

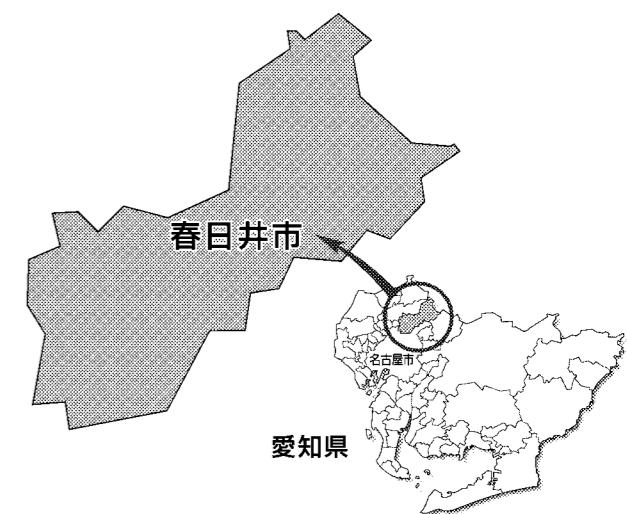
今後も、市民の皆様が「住みたい、住み続けたい、住んでよかった」と実感できるまちを目指して、持てる力の限りを尽くしてまいりますので、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



人口30万人を擁する愛知県の中核都市「春日井市」

地域産業のサポート強化 市、会議所一体で推進

愛知県春日井市。名古屋市の北東部に位置し、豊かな自然環境や隣接する名古屋市へのアクセスのよさから、人口30万人を擁する愛知県の中核都市へと発展を遂げた。現在、同市では「ベッドタウンからライフタウン」をテーマに躍動する都市づくりに向け、さまざまな取り組みを展開している。地方を取り巻く環境が厳しくなる中、同市では持続的な発展を目指し、ビジネスエリアとしての魅力を発信し、新規企業の誘致や市内立地企業のサポートなど、街の活性化につながる産業振興策を進めている。



企業立地・活動支援 「産業アクションプラン」

愛知県春日井市は、JR中央線、東名高速道路、中央自動車道や国道1号などを主要幹線道路が市内を通り、広域交通が充実している。この利便性を生かし隣接する名古屋市とのベッドタウン、また産業都市として発展してきた。

愛知県春日井市は、JR中央線、東名高速道路、中央自動車道や国道1号などを主要幹線道路が市内を通り、広域交通が充実している。この利便性を生かし隣接する名古屋市とのベッドタ